



2003年10月10日

## フォルクスワーゲン初の本格高級SUV「トゥアレグ」、年内目標ほぼ完売

フォルクスワーゲン グループ ジャパン株式会社 (略称:VGJ、代表取締役社長:梅野 勉)が、今年7月7日(月)に発表、9月2日(火)から発売した、同社初の本格高級SUV「トゥアレグ」は、当初の予想を上回る売れ行きを見せ、発売後1ヶ月でV8,V6モデルともに、本年度目標台数である800台をほぼ完売するという大好評を博しています。

「トゥアレグ」は、VGJの掲げる「**ブランド変革**」を具現化する象徴的なモデルであり、日本におけるフォルクスワーゲン車の上級セグメント進出への第一弾です。本格的な四輪駆動システム、4XMOTION(フォーエックスモーション)等数々の快適装備を標準としています。「**3 cars in 1**」のコンセプトのもと、設計想定速度270km/hというスポーツカーにも引けを取らないオンロード性能、水深580mm踏破、100%勾配(45°傾斜角)登坂をはじめとする本格的オフロード性能、ラグジュアリーセダンに相当する高いレベルの質感を高次元で実現、さらにお求めやすい価格が発表当初から話題を集めておりましたが、販売実績においてもその高い評価が証明されました。

### 1. 「トゥアレグ」の販売状況

#### 販売比率

**V8 36%: V6 64%**

当初の予測(V8 30%:V6 70%)よりも上級モデルであるV8の比率が高く、特に首都圏においては約半数がV8になりました。

### 2. 「トゥアレグ」のカスタマープロフィール

#### 前の所有車

SUVを除くVWブランド以外の輸入車からの乗り換えが全体の24%であり、VW車からの乗換えがやはり全体の24%です。また、前の所有車が輸入SUV及び国産SUVという方が全体の23%と、SUVや他社輸入車のお客様に強くアピールした結果となりました。

#### 年齢層

30-40代の男性が全体の6割以上を占めており、VGJが目指した比較的若い年代層のお客様に好意的に受け入れられています。

圧倒的な走行性能を誇る「**ゴルフR32**」(1月発売)、車を操る喜びに満ちたホットハッチ「**ルポGTI**」(5月発売)、個性的なスタイリングと開放感あふれるオープントップの「**ニュービートル カブリオレ**」(6月発売)と、VGJが今年発売した新型車は各車とも大好評で、発売後すぐに本年度目標販売台数に到達するという状況が続いています。本格高級SUV「**トゥアレグ**」も、これら各車に引き続き目標販売台数をクリアし、VGJが推進している「**ブランド変革**」を力強く支えています。